

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



2014
7



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

終刊号
Vol.13

2014年7月20日発行

編集長は
誰だ？





「ガバナー月信」 終刊号目次

表紙	1
目次	2
メッセージ	
本田博己ガバナー	3
板垣忍地区幹事	9
平出昌男地区会計長	10
シドニー国際大会報告 曾我隆一PG	11
米山記念奨学生学友会総会報告 星野大輔地区副幹事	13
周年記念式典報告（伊勢崎東RC 20周年）	14
地区副幹事メッセージ	
鴻田 敦	15
長谷浩克	15
奥野和義	16
石井繁紀	16
星野洋一	17
温井尚久	17
星野大輔	18
小林幹昌	18
事務局員メッセージ	
入山こず江	19
須藤真希子・佐藤由紀恵	20
希望を語ろう～ロータリー研究会発表要旨～	21
本田年度 地区主要行事、周年行事・IM 一覧	27
編集後記	29



ガバナーメッセージ

私たちの年度を振り返って

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

私たちの年度のクラブ会長・幹事の皆様、地区役員の皆様、
そして 2840 地区のすべてのロータリアンの皆様へ。

6 月末で、私たちの年度が終了しました。ガバナーエレクトの時代から 2 年間皆様のご協力・ご支援のお陰で無事私もガバナーの任務を終えることができました。初めは、使命感と責任感に突き動かされて緊張した船出でしたが、今は、達成感・充実感とご支援いただいた皆様への感謝の気持ちに満たされています。

本号は、ガバナー月信の終刊号ですが、別冊でガバナー補佐と地区委員会の年間活動報告書をお届けしますので、活動報告の詳細はそちらに譲り、ここでは、ガバナーとしての年度の振り返りをいくつかのトピックに整理してまとめてみます。

(※ガバナー補佐と地区委員会の年間活動報告書は、地区ウェブサイト、過去年度の「本田年度のページ」にも収録しています)

RI テーマと地区スローガンとを 年間を通して強調しました

ロン D. バートン RI 会長が掲げたテーマ “Engage Rotary, Change Lives” と地区スローガン「希望を語ろう！」とを、年間を通して会員の皆様に強調し、「元気なクラブづくり」推進のキーワードとしました。例会やクラブの奉仕活動への積極的参加を奨励すること、「ロータリーモメント」（ロータリーの感動体験）やクラブの将来像、すなわち「希望」を語り合うことが、真のロータリアンが集う活力あるロータリークラブへの第一歩です。

地区委員会が活発に活動し成果を上げました

ロータリー財団委員会は、「未来の夢計画」の実施初年度でしたが、非パイロット地区としては、大変大きな成果を上げました。新世代（青少年）奉仕部門の青少年交換委員会、インターアクト委員会、ロータリーアクト委員会、RYLA 委員会、そして公共イメージ委員会、米山記念奨学委員会もそれぞれに着実に成果を上げることができました。各委員会の委員の皆様のご努力に感謝申し上げます。

また、おかげ様で「ロータリー財団への寄付目標」、「米山奨学会への寄付目標」のいずれの数値目標も目標達成しました。

実績：財団一人当たり寄付 165.53ドル。米山一人当たり寄付 17,714 円

ガバナー月信の充実を図りました

ガバナーを務めてみて気づいたのは、会員の皆様との交流は、公式訪問・地区大会やIM等、意外に限られた機会しかないことです。そのため毎月の月信で、会員の皆様に知っていただきたい情報や地区内クラブ情報を可能な限り収集し発信してゆくことに努めました。パストガバナーの皆様には味わい深いエッセーを寄稿していただきました。私も毎月のガバナーメッセージの他にガバナーコラム（「ロータリーの誤解・正解」シリーズ）の連載に挑戦し、私の思いやロータリー観を発信しました。

そのため毎月の月信のページ数が多くなり、コピーをとっていただくクラブ事務局には大変ご苦勞をおかけしました。今後も、皆様の月信に対する忌憚のない評価・ご意見をお寄せいただき、クラブや会員の皆様からの投稿がもっと増えれば、月信は、より一層会員に近い情報交換・交流の場として充実すると思います。

（＊月信連載コラムは、12回分をまとめて『ロータリーの希望 ―「奉仕の理念」とその実践をめぐる―』と改題してPDFにしました。すでに各クラブに送付していますが、地区ウェブサイトの過去年度の「本田年度のページ」にも収録いたしました。）

3か年地区戦略計画を策定・決議しました

地区戦略計画委員会（清 章司委員長）では、クラブにおける戦略計画立案と推進を奨励するとともに、地区としても戦略計画を定めて計画的・継続的に取り組んでゆくことを当年度の課題としていました。本田（当年度）、竹内 GE（次年度）、生方 GN（次々年度）も委員で参画し、これからの3か年計画を検討し案にまとめました。

主テーマを「クラブを元気にしよう」とし、7項目の「元気」の指標（目標）を設定し、活力と活気に満ちたクラブづくりにクラブとともに果敢に挑戦することを謳っています。幸い、昨年10月の地区大会に上程され、皆様の賛同を得て決議されました。戦略計画の実践による成果（クラブと地区の活性化・発展）を大いに期待しています。

新しい形の地区大会を開催しました

形式は従来のやり方を踏襲しましたが、新しい試みに挑戦しました。大会の統一テーマを、地区スローガンの「希望を語ろう！」とし、「ロータリアンのロータリアンによるロータリアンのための大会」、「地区大会にクラブ全員で参加するよう奨励する」、「スマートな運営、感動的なプログラム」というコンセプトをもとに実行委員会に具体化をお願いしました。

主な新機軸は以下の通り。①親睦と交流の場である「友愛の広場」を楽しむ時間を十分にとり、クラブや地区委員会の出展（全部で20ブース）で賑わいをつくった。②3か年地区戦略計画を決議した。③分区・グループの代表者による「ロータリーモメント」の発表の時間をつくった。各代表者のスピーチは聴衆に感動を与えた。また、133人のロータリアンからの寄稿をまとめた冊子『私のロータリーモメント』＜心に残るロータリー感動体験＞を記念出版し、地区内全会員に配布した。



大会の登録参加者総数は、1,094 人で例年より少し多いぐらいだったのですが、参加していただいた皆様には、大会の楽しさや感動を十分味わっていただけたように思います。「地区大会は参加することに意義がある!」。今後もできるだけ多くのクラブの仲間が、年 1 回のロータリアンのお祭りである地区大会に賑やかに集うことを心から願っています。

クラブの広報活動が公共イメージの向上に大きく寄与しました

地区の広報活動としては、年度初めに私と板垣地区幹事とで上毛新聞を訪問し取材を受けたこと、地区大会の取材、ロータリーの創立記念日（2 月 23 日）に全 5 段の広告を上毛新聞に出稿したこと、また、創立記念日の前後 2 週間、地区のウェブサイトのトップページにロータリーの紹介と会員勧誘案内を掲載したことなどを行いました。

6 月には、この年度内の 1 年間に新聞掲載されたロータリー関連の記事・広告をまとめて『ロータリー広報の記録 ― 公共イメージの向上をめざして ―』という小冊子を作り、全クラブに配布しました。この小冊子に収録された記事・広告の総量は、新聞の 3 面（頁）と 10 段近くに及びます。このスペースを広告出稿したと仮定すると、地区の広告予算の 6 倍以上の額になります。

この『広報の記録』には、地区内ロータリークラブやインターアクト、ローターアクトの活動や未来の夢計画の地区補助金を活用した奉仕活動の記事が並んでいます。クラブの活発な活動が、ロータリーの公共イメージを高めることに大きく貢献しています。

ロータリアンとロータリークラブの、地域社会に対する「奉仕の理念」の実践が、ロータリーの公共イメージ向上の原動力です。

インターシティ・ミーティング（IM）を各分区・グループで開催しました

年度が始まる前、私が「10 年ぶりに IM を復活させたい!」と宣言したとき、ガバナー補佐の皆様が困惑(?)の表情を浮かべていたことを思い出します。結果は大成功だったのではないのでしょうか。

企画・運営はガバナー補佐とホストクラブにすっかりお任せしたのですが、各分区・グループで、それぞれに工夫を凝らした楽しい充実した IM になったと思います。あらためてガバナー補佐と実行委員会の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

実施してみて、IM の楽しさを知らない若い会員が増えていることに今さらながら驚いています。ロータリーの「奉仕」を語り合い「親睦」を深める機会、仲間の輪を広げる機会として、今後も続けていただきたいと思います。

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）研修セミナーが定着しました

RLI 研修セミナーも 3 年目となり、会長エレクト・次年度幹事の、PETS や地区研修・協議会前のロータリー全般の学びの機会として定着してきました。

少人数の討議形式による RLI セミナーの目的は、参加者のリーダーシップ（指導力）を育むことで、



クラブの活性化につなげることです。参加者個人にとっては、「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立」を目指しています。また、RLIの双方向・対話型の研修スタイルはクラブにおけるロータリー研修にも応用されることを期待しています。

当年度は、最新のRLI 20周年記念版（2012）の翻訳を日本で初めてテキストに使用しましたが、このテキストは、後にRLI日本支部のカリキュラム委員会（私もメンバーの一人）の校訂を経て、正式の日本語版テキスト（2840地区の実施経験が反映されています）となりました。

企画・運営にご尽力いただいた地区研修委員会の曾我隆一委員長、横山公一副委員長はじめ委員の皆様、ディスカッション・リーダーの皆様に御礼申し上げます。

ロータリー研究会で 2840 地区をアピールしました

2013年12月3日、4日の2日間、東京で第42回ロータリー研究会が開催されました。ロータリー研究会は、年に1回、日本全国（第1ゾーン～第3ゾーン）の地区から、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー等のロータリー指導者が集まり、最新情報の提供や意見交換を行う会合です。

1日目のロン・バートン会長の基調講演の後、RIテーマ「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」を表題に掲げた第1セッションが行われました。私は、そのセッションのパネリストの一人として登壇しました。日本の各ゾーンから同期のガバナーのうち3人が指名されたのですが、現職のガバナーがパネリストになるのは、ロータリー研究会の歴史で初めてのことだそうです。（詳細は、ガバナー月信1月号14～15ページのレポート参照）

また、私が2840地区の活動を発表した内容は、本号の21～26ページに掲載しています。

地区固定事務所が運用開始しました

地区運営上の長年の懸案であった「ガバナー事務所の固定化」が諮問委員会の審議を経て実現しました。地区固定事務所とは、ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所を同一場所に常設し、事務所員（複数名）が常勤する事務所を言います。前橋問屋センター会館に常設された地区事務所は、2014－2015年度は、竹内ガバナー事務所と生方ガバナーエレクト事務所として機能します。

地区運営の合理化（経費の節減）・安定化（事務所員の常勤）、そして膨大なデータや資料の散逸を防ぐという目的もありますが、私はそれ以上の効果が今後期待できると考えます。

これまでは、ガバナー輩出クラブの所在地にガバナー事務所（エレクトの時期から2年間）の開設・閉鎖を繰り返す必要があり、ガバナー輩出クラブの負担は少なくありませんでした。しかし近年、情報ネットワークによりほとんどのデータは共有・連絡が可能となっています。

これまでは、ガバナー事務所を組織し運営できる、比較的会員数の多いクラブからしかガバナー輩出は困難でしたが、これからは少人数のクラブでも意欲と能力があるガバナー候補者を推薦できる



条件が整ったのです。これは、2840 地区に新たな可能性を開く大きな一歩になると信じています。

会員数回復へ！

最後に、皆様に嬉しいご報告です。年度末（6 月末）の地区全体の会員数が、1,916 人（速報値）となり、年度がスタートした時（1,875 人）から 41 人の増加という結果でした。所期の目標（ガバナーとしての野望？）は、「すべてのクラブで純増達成！」ということでしたが、それは残念ながら叶いませんでした。

しかし、40 人以上の純増は 2840 地区の歴史の中でも、かつてない大成果といってもよいと思います。細かく見ますと、純増を達成したクラブは 24 クラブと 5 割を超え、会員数を維持（±0）した 9 クラブと合わせて 7 割以上のクラブが「会員増強」活動の成果を上げています。

強調したいのは、これは、皆様のご努力の結果ということです。具体的な「会員増強」の対策はもとより、例会や奉仕プロジェクト、広報活動の活性化という「元気なクラブづくり」を推進したクラブの総合力の結果だということです。この結果は私にとって、最後に皆様にいただいた「ご褒美」だと思っています。

会員組織強化委員会の牛久保哲男委員長、安藤震太郎副委員長、そして委員として各クラブと連絡を密にさせていただいたガバナー補佐の皆様にも御礼申し上げます。

年度当初の地区目標には「地区全体で 2,000 名以上に回復する」という大きな目標（大風呂敷？）を掲げましたが、これは、地区 3 か年戦略計画に受け継がれました。「会員増強は仲間を増やすこと」、「仲間が増えればクラブはもっと楽しくなる」。このことをクラブ指導者の皆様が得心し会員に強く働きかければ、クラブは変わるでしょう。竹内ガバナー年度、生方ガバナー年度の 2 年間で 2,000 名回復は必ず達成できると確信しています。

以上、トピック毎に整理してみましたが、書き尽せません。

最後に、私的な感想を申し上げます。県外出身者の私にとってロータリーでの新しい出会いは有り難く貴重ですが、特に、この 2 年間は、心から信頼できる多くのロータリアンの仲間の皆様と素晴らしい時間を共有させていただきました。私の最高・最良のロータリーモメントの時でした。

クラブ会長・幹事の皆様、地区役員の皆様、特にガバナー補佐、委員長の皆様、そして平方会長はじめ前橋ロータリークラブの皆様、おかげ様でなんとかガバナー職を務め上げることができました。心より感謝申し上げます。

苦楽を共にした板垣地区幹事、平出会計長、そして副幹事の皆様、ガバナー事務所の入山さん、須藤さん、佐藤さん、本当にありがとうございました。

ガバナーの任期を終えてあらためて思います。自分ひとりでは何もできない。しかし仲間が居れば何事かを為すことができる。思いの強さが人の心を動かす。

私たちの年度で達成できたことは限られているかも知れませんが、私たちは間違いなく前進しています。こうして、新しい年度でまた新しい歴史が創られてゆきます。これからの私の役割は、2840 地区の前進の歩みを支援・促進することにあると思います。



《成果物》

『私のロータリーモメント』＜心に残るロータリー感動体験＞

『ロータリー広報の記録 ―公共イメージの向上をめざして― 2013 年 7 月～2014 年 6 月』

『ロータリーの希望 ―「奉仕の理念」とその実践をめぐって―』

『ロータリーの基本～研修の手引き～』（改訂第 3 版）

《年度当初に掲げた地区目標》

1. クラブを元気にしよう
2. 会員全員がリーダーシップを発揮できるような環境を整えよう
3. 地域社会に対する発信力を高めよう
4. 中核となる価値観を共有し、奉仕を実践しよう
5. IM を開催し、私たちの課題と「希望」を確認しよう
6. 子どもの未来を育もう
7. ロータリー財団の「未来の夢計画」に積極的に参加しよう
8. 米山記念奨学会への認識を高めよう
9. 地区大会にクラブ全員で参加しよう

数 値 目 標

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 会員増強 | 地区会員数 2,000 名以上回復 |
| 2. ロータリー財団への寄付目標 | 1 人 150 ドル |
| 3. 米山奨学会への寄付目標 | 1 人 16,000 円以上 |



メッセージ

幸せモン！って呼んでください

地区幹事 板垣 忍

「もしもし、板垣さん。このままいくとPETSで発表する地区の組織表は、本田年度の地区幹事が空欄になっちゃいますけど・・・そろそろタイムリミットですよ。ホントに何とかして下さいよ。頼みますよ。まったく!!」

「まっちゃんさ～。(このまっちゃんは、正田年度の地区幹事であります松島さんのことであります) そんなこと言ったって、オレ今会長だしさ～、しかもまだ折り返し点まで到達してないんだぜ。カンベンしてよ」

「そんなこと言ってる場合じゃないでしょ。本田さんが可哀想でしょ」

「オレは可哀想じゃないわけ?なにそれ・・・」

ツヨクなやり取りがありまして、カワイソ～な板垣さんはとってもカワイソ～な運命に捕り付かれてしまったのではありました。アーメン!

ところが、少しずつ動き始めると、「な～るほど、ここはこうなっているからこうしなつくっちゃいけないのねえ。ホントに良くできてる組織じゃん」と感心したり、「だから言ってるでしょ。きっぱりダメ!!!」といった入山姉御の愛情コモットお言葉に鍛えられ、徐々に喜んでその気になっていったのではありました。

スタッフにも恵まれ、親分にも恵まれ(本田親分は、めちゃくちゃ勉強家であることは以前から知ってはいましたが、身近で観るとホント並じゃありません)前橋問屋センター会館に広い事務所も置くことができて、これで非難轟々とかいう状況に陥ったら申し開きはできません。一所懸命やらなくっちゃということで完全にハマってしまったのでありました。もちろん、ハマったからといって上手に事が運ぶわけではなく、失敗の連続ではありましたが、その度に色々な方から励ましを頂き、何とか竹内年度にバトンを渡せそうなところまでやってまいりました。全くの手作りで、訳も分からず手探り状態で臨んだ地区大会・・・大雪の中、すべてがストップした日、歩いてセミナー会場の県庁まで行ってくれた高井委員長と担当副幹事・・・凄さを乗り越えて執念を感じた財団の皆様方・・・とにかく誠心誠意を貫いた青少年奉仕の各委員会・・・名人が集まった米山奨学・・・本田ガバナーと分区のクラブを大好きになってくれた8人のガバナー補佐・・・大所高所から判断して、適切に背中を押してくださいました諮問委員の方々・・・つらい時、親身になって支えてくれた平方会長をはじめとする前橋クラブのメンバーと低音の魅力の平出会計長、個性豊かな副幹事・・・いつも笑顔でピンチを乗り越えてくれた事務局のカワイイ3人娘・・・ありがとうございました。

最初の私は、なんという罰あたりのこんこんちきの大馬鹿野郎だったのでしょうか。えっ今でもそうか!





メッセージ

本田ガバナ一年度をふりかえって

会計長 平出 昌男

“希望を語ろう”は本田年度のスローガンであり、ガバナの行動、姿勢のなかにしっかりと表現されていました。このテーマはロータリー活動における永久の合言葉であろうと考えます。本田ガバナにとって悔いのない、充実した1年間であったと思います。

ガバナ活動をしっかりと支えた板垣地区幹事の奮闘ぶりはお見事でした。また8名の副幹事、事務局の皆様の大きな努力があつてこそその年度でもあったと考えております。

今年はガバナ事務局の固定化への移行初年度でありました。RI 2550地区統一事務局を訪問し、組織としての効率的な運営、年度事業執行に当たっての地区クラブ、地区組織との連携強化等々学んだことを次年度に反映させることが必要と考えられます。

財務の面では従来年度を隔ててきた壁が取り払われ、継続的な会計業務・特に勘定科目の統一により、予算・決算面での整合性ができるようになります。いろいろな反省点もありましたが、次年度会計長との意思疎通を図り業務改善をしていきたいと考えています。

一年間ありがとうございました。



Rotary says” G’d day” 第105回ロータリー国際大会報告

パストガバナー 曾我 隆一

2014 年ロータリー国際大会は去る6月1日～4日ダウンアンダーのシドニーで世界中のロータリアン・家族 18,000 人、内日本から 2,400 人、当 2840 地区から本田ガバナーを団長として 24 名参加し、多くの思い出と感動を土産に6月4日の夜、初冬のオーストラリアから梅雨空の日本へ全員無事に帰国することが出来ました。いくつかのハイライトをご紹介して国際大会の報告としたいと思います。

大会会場は 2000 年のオリンピックが開催された「オリンピック・パーク」で市内からは電車で 20分、バスで35分（大会中は登録バッジで市内はもとより郊外に至る公共輸送機関は全てフリーパス）のアクセスが良く緑豊かな素晴らしい施設でした。

まずは、1日（日）の開会式は午前・午後の二部制で本田ガバナー夫妻と私たち夫婦は午前11時30分から指定され、アルフォンス・アリーナ（1 万5千人は収容可能？）の二階上段席にて、周りは地元オーストラリアと RI 会長エレクト輩出国の台湾からのロータリアン達と一緒にしました。来賓としてはアボット首相も見えて、数々のセレモニーと余興があり、予定時間を30分以上超過してしまい、午後の部の開催に支障が出たのではと思いました。

さて、毎回の国際大会の楽しみは「友愛の家」ですが、シドニーでは「ビーラボン」と名付けられ、数多くのブースがありましたが、今回



華やかな開会式会場にて大勢のロータリアンで埋め尽くされた会場は熱気ムンムンでした。



オリンピックパークの聖火台の前で円盤みたいなのとても目立つモニュメントの前ですが、私たちの方が輝いてますよね!!



友愛の家 ビーラボンにて
な、な、なんとゲイリー・フォアンRI会長エレクトと遭遇しちゃいました。光栄です。えへへ。



日本人朝食会会場にて
地区大会で大変お世話になった江崎柳節先生と同じテーブルになりました。ホント楽しかったです。

特別な関心がありましたのは、RIが出店している「ロータリー・リソースセンター」でした。その訳は、今大会に合わせてRIが世界中の元気なクラブを15クラブ抽出して発表するとのことでした。日本のクラブでは、唯一、幸運にも当地区の前橋RCが選ばれ、世界から参加した多くのロータリアンにパンフレットとRIのMy Rotaryで同時発信されましたので、感激ひとしおでした。2840地区として今後も「元気なクラブ」「魅力的なクラブ」を目指して行かねばならないとも感じました。

6月3日(火)の12時30分から開かれました、ゲイリー・ホアンRI会長エレクト主催の昼食会(RIチケット制行事・地区では私たちだけでしたが)に出席しましたが、たまたま早めに列に並びましたお蔭で上席のロータリー財団管理委員(地元オーストラリアのイアン・リズレイ氏がテーブル・ホスト役)と同席することが出来まして、国際ロータリーの理事会・管理委員会の話し、日本の小沢一彦さんと仲良しとのことなど、アメリカ、カナダからのロータリアンと一緒に思い出に残る昼のひと時をたのしむことが出来ました。

今回もロータリー・バッヂで多くの友人が出来たことを感謝しています。



シドニー国際空港にて

ちゃんとチャリティしちゃってま〜す。エライでしょ、ボク。だけど貯まってるお金はボク一人で入れたわけではありませ〜ん。



友愛の家 ビーラボンにて

多くの仲間とバナー交換しました。これも国際大会ならではの「おたのしみ」です。



オペラハウスを望むシドニー湾にて

雑用係の3人組です。でもしっかり自分たちも楽しんじゃってま〜す。



2013-2014 年度 米山記念奨学生学友会総会報告

奨学生、学友会の親睦深まる

米山記念奨学委員会 担当副幹事 星野 大輔

平成26年6月15日（日）11：00～12：00に前橋商工会議所会館2階「ローズ」にて、米山記念奨学生学友会総会が開催されました。

40名と多数の方の出席を頂き、王曉蕾さんの司会で始まりました。

まず開会の言葉を田中委員長、挨拶を本田ガバナーそして学友会会長劉娜さんから頂戴しました。また、来賓の高木米山記念奨学会常務理事からも挨拶を頂戴し、議事進行となりました。

議題は、

- 1.2012-2014 年度活動報告
2. 決算について
3. 役員改選について
- 4.2014-2015 年度活動計画
5. その他



それぞれの議題について慎重審議をした結果、全ての議題は承認されました。最後に板垣地区幹事による閉会の言葉で無事に総会は終了致しました。

引き続き懇親会を李学彦さんの司会で開催しました。

新規奨学生、継続奨学生、学友会会員の親睦を深めるとともに、歓談の途中には、参加奨学生による一言スピーチを頂き、それぞれの思いを皆さんに聞いて頂きました。



『伊勢崎東RC創立 20 周年記念式典』 報告

2013-2014 年度 伊勢崎東ロータリークラブ会長 梅田 浩行

伊勢崎東RCは本年 6 月 21 日（土）、『創立 20 周年記念式典・祝賀会』を伊勢崎プリオパレスに於いて開催致しました。

当日は本田ガバナー、伊勢崎市長を始めご来賓の方々、そして多くのロータリアンの皆様にお越しいただき盛大に開催できました事、あらためて感謝申し上げます。

当クラブは 1994 年 4 月 12 日、伊勢崎中央 RC 様をスポンサークラブとして産声を上げました。当分区では 1 番の新米クラブです。以来、バブル崩壊以降の厳しい日本経済と時を同じくして歩んで参りました。近年ではフィリピンへの水道水浄化装置設置、伊勢崎市内の施設への支援事業、又、市内小・中学校への図書寄贈を奉仕事業として継続しております。その様子は会場のスクリーンにて、ご来訪の皆様にもご覧いただきました。

記念事業は、高架事業で整備されつつある伊勢崎駅前への「サークルベンチ一式」寄贈です。

アトラクションは会員子女らの打楽器によるウェルカムミュージック、赤堀中学校吹奏楽部によるオープニング演奏、小田えつこ歌謡ショーを催しました。特に祝賀会では“富岡製糸場の世界遺産登録”正式決定が伝わり、また、小田女史の仕掛けもあり半狂乱？と盛り上がりました。本田年度最終の周年行事として、皆様の慰労にもなったのであれば幸いです。

創立 20 周年は成人式ですが、まだまだ先輩クラブには遠く及びません。昨今は“昔の二十歳、今三十”とも云う様です。これからも皆様にはご指導の程、宜しくお願い申し上げます。





地区副幹事メッセージ

たくさんの方々との出会いに感謝

地区副幹事 鴻田 敦

疋田ガバナー年度地区大会の最後に次年度の案内で、前橋市のゆるキャラ「ころとん」とともに舞台に上がりました。何となく「いよいよだなあ」と感じたことを覚えています。

自クラブ以外ほとんど出たことのない私にとって、この1年は多くの方と出会うことのできた素晴らしい1年でした。パストガバナー、ガバナー補佐の方々、各委員会のメンバー特にロータリー財団委員会に関わっている皆さんには本当にお世話になりました。まだまだ足りないですが多くのことを学ばせて頂いたと思います。

またガバナー公式訪問等で他クラブにお伺いしたのも良い勉強になりました。地区内他クラブの様子を直接肌で感じることで良い経験をさせて頂いたと思っています。

本田ガバナー事務所スタッフの一員として参加できたことを誇りに思い、この1年に関わった全ての方々に感謝しております。



1年間を振り返って

地区副幹事 長谷浩克

副幹事としてのスタートは、本田年度が始まる遥かに前で、疋田年度の当初の頃だったと記憶しています。会議や研修等が、ガバナー補佐を対象としてのもの、委員長までを対象、地区役員を対象、PETS、SETS等徐々に対象範囲を広げ大所帯となっていきましたが、初期の頃はロータリーの用語を言われてもほとんどわからない状況で戸惑うばかりで、地区役員の皆さんの真摯で熱い議論についていけない状態でした。任期が終了した現在もあまり進歩はありませんが、周りの皆さんのおかげで大きなトラブルもなく？（自分ではそのように勝手に考えています）終われたことに安堵しています。



地区副幹事メッセージ

本田ガバナー一年度地区副幹事を経験して

地区副幹事 奥野 和義

2012年2月前橋ロータリークラブ野球部新年会の席で、板垣幹事より「奥野君、本田年度の地区副幹事やってくれない？」と声を掛けて頂き、「大丈夫！僕に身を任せてもらえれば！」と、まるでお姉さんを口説くように温かくスタッフ一員に加えて頂きました。

それまでは、前橋ロータリークラブ以外の他クラブの例会には出席したことが無く、前橋ロータリークラブの例会と他クラブの例会や奉仕活動も同じと思っていました。

今回、第2840地区の行事や各ロータリークラブの例会に出席させて頂き、とても暖かく歓迎を受け、クラブのオリジナルソングやクラブごとの活動に驚きを覚え、皆さんと交流できた年でした。

また海外のロータリークラブの例会に初メイクし、ホノルルロータリークラブでも歓待して頂きました。

地区副幹事を受けることで、今までとは全く違う外に出て経験することで、ロータリークラブの楽しみ方や会員で有る意義、希望や活動による感銘の大切さを身をもって感じる事ができました。

拙い地区副幹事でしたが、この経験をこれからのロータリーライフに生かしていきたいと思います。

最後に、お世話になりました皆様に感謝いたします。

ありがとうございました



「私の地区副幹事ロータリーモメント」

地区副幹事 石井 繁紀

私と地区ロータリーの初めての出会いは、一通の連絡「本田組結団式開催・2012年3月7日」でありました。何のことも意味の分からなかった私ですが、運悪く当日ギックリ腰を発症してしまい、参加することができませんでした。その後3ヶ月が経過し、次なるメールは「スタッフ会議日程調整の連絡」でありました。4日間の内唯一の駄目だった日に開催となり、またしても状況が分からない日々が続きました。結局初めての参加は2012年9月25日の定例スタッフ会議で、10月26日ヘルシーパル赤城にて泊まりで開催される「第一回ガバナー補佐会議」に向けてでありました。ここで地区というものの概要が示され、ホンの一部を初めて理解することとなりました。

思い出深いのは、2013年3月16～17日に伊香保の福一にて開催された「会長エレクト・次年度幹事研修セミナー」です。2月の鎖骨骨折によりチタンプレートを装備し人造人間になり立ての身で運営手伝いをしたことでしょうか。また、地区大会ではスパウスポログラムという公式メニューに書いていないけれど極めて重要な任務を全うさせて頂いたことも貴重な経験でありました。

あっという間の2年4ヶ月が過ぎ、気が付くと本田ガバナーによる地区の公式行事の任務は全て完了となりました。この場をお借りし関係皆様方に対して、結構役立たずだったことのお詫びと、ご支援ご協力に対する御礼を申し上げ、地区副幹事任務完了のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



地区副幹事メッセージ

地区副幹事を終えて

地区副幹事 星野 洋一

2013年6月29日(日)の「青少年受入学生歓送会・夏期交換学生歓送迎会」をもって、本田ガバナー年度地区副幹事としての業務をすべて終えることができました。当日は本田ガバナーにとっても最後の行事であり、ガバナーとしての最後の挨拶を拝聴でき感無量でした。一昨年の10月から準備が始まり、長いような短いような1年9カ月が過ぎましたが、なんとかゴールまで辿り着くことができました。その間、「聞いてないよ～」的なこともありましたが、曲がりなりにも副幹事を務めてこれたのは、本田ガバナー、板垣幹事、平出会計長、鴻田さんをはじめとする同じ地区副幹事のメンバー、そして裏で実権を握る事務局の入山さん、須藤さん、佐藤さんのご理解とご協力のおかげです。また、公式訪問をご一緒させていただいたガバナー補佐の五十嵐さん、青少年交換委員会で苦楽を共にした前原委員長をはじめとする委員会のメンバー、ROTEXの皆様にも大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



貴重な経験に感謝

地区副幹事 温井 尚久

今年度、私は地区副幹事としてガバナー月信編集長、補助金、研修等を担当させていただきました。本田ガバナーをはじめとする地区役員や数多くのロータリアンとの交流の機会があり、大変充実した年となりました。

創刊ゼロ号で始まったガバナー月信ですが、今回の終刊号で14回の発行をすることができました。皆様には原稿の執筆など無理なお願いにも関わらずご協力いただき大変ありがとうございました。ガバナー月信の編集作業を通じて改めてロータリーの素晴らしさと奥の深さを実感することができました。

また、補助金関連では地区補助金審査会等を通じてロータリー財団の仕組みを理解することができました。研修ではRLIを通じてロータリーの本質とリーダーのあるべき姿が見えたように思います。

「奉仕の理念」に基づく、ロータリー活動は人としての成長を促すだけでなく、経営センスを磨きあげる最善の場だと思います。

ご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



地区副幹事メッセージ

1年間ありがとうございました

地区副幹事 星野 大輔

まだロータリアンとして経験の浅い私に地区副幹事の連絡が入ったのは約2年前。全てが未経験でしたが、皆様のおかげで1年を終えることができました。

地区副幹事として印象に残っているのは、昨年10月に開催された「地区大会」です。シナリオ作成の担当を仰せつかり、さあどうしようか・・・

当時、事務局の入山さんによく相談をさせて頂いたことを思い出します。（入山さんがいなかったらきっと恐ろしい結果になっていたことでしょう。）

又、米山奨学委員会においては、田中委員長のご指導のもと、なんとかやってこれたと思っています。今後はこの経験を糧とし、仕事、クラブ活動に生かしていきたいと思います。1年間ありがとうございました。



副幹事報告です。

地区副幹事 小林 幹昌

準備期間から約1年半、ありきたりの言葉ですが長いようで短い本田年度でした。第6分区を担当、さらにアクト関係の担当もさせていただいたおかげで幅広い交友関係を築くことができました。また本田ガバナーの同じ話を何回も聞かせて戴いたので、話し方のコツを身につけられたような気がします。副幹事の役目として2840地区における若さと機動力においては、副幹事8人衆それなりに動けたと勝手に自負しております。このような機会を与えてくださった本田ガバナーをはじめ、板垣幹事、平出会計長に大変感謝しております。

あと残念なお知らせがあります。事務局入山さん、須藤さん、佐藤さんへ。

本田年度副幹事8名はこれからもずっとパスト年度会議と称して事務局3名を誘い続け、定例会（飲会）をずっと継続していきますので覚悟のほどよろしくお願いします。

けが（鎖骨）・入院・食中毒・ファンデーションといろいろあった副幹事8名ですが、とりあえず卒業です。本田年度関係の皆様ありがとうございました。

フランス郊外より愛を込めて



事務局員メッセージ

みんなで咲かせた「希望の花」

ガバナー事務所 事務局員 入山 こず江

あれは、まだ私が安藤ガバナーにお仕えしていた時の2011年の年末でした。次の疋田年度の松島幹事が困っていました。「2013-14年度は本田ガバナーと事務局(入山)しか決まっていない！組織図に地区幹事の名前が入らない！」・・・私にとって本田年度は、“地区幹事は誰??”からのスタートでした。

あれから3年、今ではすっかり地区幹事の顔になった板垣幹事は、事務局では「うふふ、えへへ」と言いながらも事務局をいつも気遣ってくださり、個性豊かな地区副幹事さんをしっかりとまとめ、本田ガバナーの希望を叶えるべくガバナーの傍で一番ご苦労をされてきました。ガバナーと地区幹事は、本当にいいコンビで、二人で一つの大輪の希望の花でした。

その花をキラキラと咲かせる為、色々な経験をしながら支えたのが地区副幹事の皆さんでした。ある方は、いつでも板垣幹事からの伝達事項を迅速にスタッフ全員にメールで連絡・集計し、ある方はガバナーにも毒舌で攻撃ができるほどの鋭い観察力で資料の校正をし、またある方はいつも仏のようできてバイクを颯爽と乗りこなし、またある方は身体にチタンを埋め込み、そしてまたある方は冬の時期に後ろから女性と見間違われながらも青少年と真正面から向き合い、ある方は桐生の地区大会で“ころとん”の中に入りながらも月信にガバナーと一緒に真剣に打ち込み、ある方は夜の帝王をひた隠しにしたがために事務局に弱みを握られ、またある方はフランスの香りを漂わせながら”おもてなし”とは何たるものかを背中で事務局に語られていました。

そして、その大きな希望の花と様々な形の葉が太陽の光をしっかりと浴びて空を仰いでいられるように、ずっしりとしっかりと支えていて下さったのが、重鎮の平出会計長でした。

事務局は、いつもその花に寄り添い、須藤さんは優しく日本酒を注ぎ、佐藤さんは豪快にワインを注ぎ、そして私こと入山は「もっと輝けるはず！」と笑顔で激をとばしながら見守り続けてきました。

そうして、大きく花開いた希望の花は、大勢の方のご支援・ご協力のお蔭によりキラキラと輝き続ける事が出来ました。本当に有難うございました。

2013-14年度、地区運営・クラブ運営に携わられた全ての皆様を含む“みんな”で咲かせた「希望の花」をこれからも大切に育てていきたいと思ひます。



事務局員メッセージ

希望と笑顔と感謝の一年

ガバナー事務所 事務局員 須藤 真希子

本田ガバナー年度を振り返りますと、板垣地区幹事にはいつも「うふふふ」の笑顔で癒していただき、平出会計長には事務所をいつも温かく見守っていただき、鴻田副幹事にはキリッとスタッフを束ねていただき、長谷副幹事には毒舌で笑いの渦に巻き込んでいただき、奥野副幹事にはいつも和やかな雰囲気です事務局をほっと安心させていただき、石井副幹事には健康（骨）の大切さを教えていただき、星野洋一副幹事には度々の私からの無茶ぶり電話にも耐えていただき、温井副幹事には限りない優しさで事務局を包んでいただき、星野大輔副幹事にはせっかく呼んだ代行を横取りさせていただき、小林副幹事には、細やかなお心配りでたくさん「おもてなし」をいただき、入山さん・佐藤さんには仕事を助けていただくとともに毎日たくさんの笑いをいただき、そして、年度の最後には本田ガバナーのとびっきりの笑顔を見せていただきました。

私にとり「いただきもの」の多いとても幸せな一年となりました。皆様に心より感謝申し上げます。



見守られながらの半年間

ガバナー事務所 事務局員 佐藤 由紀恵

昨年の12月よりガバナー事務所に勤務して、周りの皆さんにいろいろ教えて頂きながら、あっという間に本田年度が過ぎてしまったと感じております。やさしい皆さんに見守られ、感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ毎日が勉強の日々ですが、笑顔で頑張っていきたいと思っておりますので、今後ご指導お願い致します。

尚、あちこちで「お酒を浴びるように飲む佐藤さんだね！」と言われますが、浴びるのではなく、「掛け流す!!」程度です。あしからず（笑）



(以下『第42回ロータリー研究会報告書』より抜粋)

本会議 第1日目 第1セッション

本会議 第1日目 第1セッション

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

モデレーター	RI 研修リーダー	三木 明 (姫路)
パネリスト	2840地区ガバナー	本田 博己 (前橋)
	2760地区ガバナー	田中 正規 (西尾)
	2710地区ガバナー	沖田 哲義 (下関)



2013、2014年 RI 研修リーダー
第2680地区 パストガバナー

モデレーター 三木 明 (姫路)



先程、ロン・バートン RI 会長から「日本のロータリアンに期待する」とのテーマで基調講演をいただきました。

私たち、日本のロータリアンが世界の中でどれほど大切にされ、期待されているのかを感じ取った次第であります。

ロン・バートン RI 会長は、「この年度の私た

ちの目標は、ロータリーをさらに力強い団体とし、続く年度へと引き継ぐことです。ロータリーで成功するには、ロータリーを正しく実践することです」とおっしゃいました。

「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」“Engage Rotary Change Lives” このロン・バートン会長のロータリーをこよなく愛する思いを本年度のガバナーがどのように受け止め、実践されてきたのかをお話頂きたいと思います。

ロン・バートン会長のお話を受けて、このセッションでは、高らかに掲げられたテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」“Engage Rotary Change Lives”をどのようにとらえ、活動に生かしているのかを共に考えたいと思います。

加えて、この第42回ロータリー研究会の招集者でいらっしゃいます 北清治 RI 理事は、「現役のガバナーの皆様が、ロン・バートン会長のテーマを理解し、その方針に沿ってこの年度を有意義にするために各地区でどのような実践をされているのか。その活動のエネルギーの源は何なのか。地区のロータリアンは申すまでもありませんが、地域の人々との関わりはどうか。ロータリーの愛をどういう形で広めることになるのか、共に

第42回 ロータリー研究会 報告書

考えよう」とおっしゃいました。

今、壇上に3人のガバナーがいらっしゃいます。パネリストとして、それぞれの地区での実践のご報告をお願い致します。

お三方をご紹介申し上げます。

第2840地区 本田博己ガバナー（前橋 RC）

第2760地区 田中正規ガバナー（西尾 RC）

第2710地区 沖田哲義ガバナー（下関 RC）

です。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

そして、モデレーターを仰せつかっております第2680地区姫路 RC の三木明でございます。

後ほど、フロアからのご発言も頂きながら、セッションを進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

このセッションは、自説を展開する場でも、分析や批評を行う場でもありません。

皆様方の地区で情熱を傾けて活動された実績をご報告頂きたいと思うのであります。

それと、時間は万人の共有物でありますので、シェアしながらご発言を頂きたいと思います。よろしくようお願い申し上げます。

では、早速ですが本田ガバナーにお話頂きます。

希望を語ろう！

—2840地区（群馬）における RI テーマの展開と実践—

第2840地区 ガバナー 本田 博己（前橋）



ロン・D. バートン RI 会長のテーマをいかに受け止め、実践しているか。

国際協議会でロン・バートン RI 会長エレクトより年次テーマが発表されたときには大変感銘を受けましたが、その日本語訳には少し違和感を覚

えました。国際協議会の間、そして帰国後も同期のガバナーエレクトの皆さんと RI テーマの日本語訳について意見交換を続けました。素晴らしい名訳だという人もいましたが、ちょっと意識し過ぎではないかという人もいました。ドイツ語、フランス語、スペイン語訳も比較参照しました。こうした議論そのものが、私たち同期の RI テーマに対する理解を深めたと感じています。

私は、“Engage Rotary”は「ロータリーに積極的に参加しよう」、「Change Lives」は「人生を変えよう」というバートン会長の私たちへの呼びかけ（Challenge）と受け止めました。

この RI テーマは、私のロータリーライフで得た実感と一致する、大いに共鳴・共感できるテーマだと思っています。私は、この RI テーマを全面的に地区内会員に浸透させてゆきたいと考えました。

RI テーマを地区内クラブにより効果的に浸透し実践してゆくために、2つの「補助線」（additional line）を使っています。

「補助線」とは、「幾何の問題を解く時、与えられた図形にないが、問題解決の助けとするために新たに描く直線、または円」と辞書に載っています。もちろん比喩的にこの「補助線」という言葉を使っているのですが、一つめの補助線は、地区スローガンに「希望を語ろう！」と掲げたことです。

現代いろんな意味でロータリーは、危機の時代を迎えているといわれます。日本全体で止まらない会員減少は、危機の表れと言われています。ロータリー運動そのものが時代遅れだという人もいます。私は社会情勢や外部環境にロータリー危機の原因を求めても、問題解決はできないと考えています。課題は、ロータリーの内部に、クラブの内部にあります。今は、危機を言い募るより、クラブの中に希望を見出し、希望を語ることの方が大切だと思います。

「希望」とは私たち（ロータリー）が持ってい

地区スローガン
「希望を語ろう！」
“Let's Talk about HOPE !”
ロータリーの危機を言い募るより、「希望」を語りたい！
「希望」は、私たちロータリーの可能性を信じること

本会議 第1日目 第1セッション

る可能性を信じることです。現状に安住する気持ちからは希望は生まれません。変化を強く望む心に希望は生まれます。クラブの将来像をみんなで語り合い、クラブに対する思いをひとつにすることから、「希望」は始まる、ということを、地区協議会や地区大会でのガバナー・メッセージやクラブ公式訪問などあらゆる機会に訴えています。

RI テーマと地区スローガンを一体化して地区内会員へのメッセージとしています。

ロータリーに積極的に参加し、自分の生き方を変えれば、(“Engage Rotary, Change Lives”)

自分の中に「希望」を発見するでしょう。

そして、その「希望」をクラブの仲間と分かち合い行動を起こせば、みんなの人生をより良い

ものに変えてゆく可能性、すなわち「希望」を確信するでしょう。

二つめの補助線は、文集『私のロータリーモメント』“My Rotary Moment”の発行です。

「ロータリーモメント」は、田中作次 RI 直前会長が提唱されたように、「心に残るロータリーの感動体験」のことで、国際協議会でも毎日の本会議でシニアリーダーの皆様の“My Rotary Moment”の発表があり、大変感銘を受けました。私たちガバナーエレクトもワークショップで、自分の「ロータリーモメント」を考え発表する機会が与えられました。バートン会長は、「ロータリーモメント」を「ロータリーに打ち込むきっかけとなる何かをロータリーで見つけた体験」と言い換えています。

私自身は、17年のロータリーライフで、八つの感動体験が思い浮かびます。クラブや地区の役職の経験で、ロータリー理解が深まり、交友も広がったことが感動体験につながっています。中でも、奉仕プロジェクトの立ち上げやクラブ組織、地区組織の改革推進等、「ロータリーの仲間とともに取り組んだ」体験が、八つの体験のうち五つを占めています。クラブの未来の「希望」の芽やヒントは、会員一人一人の「ロータリーモメント」(感動体験)の中にあります。

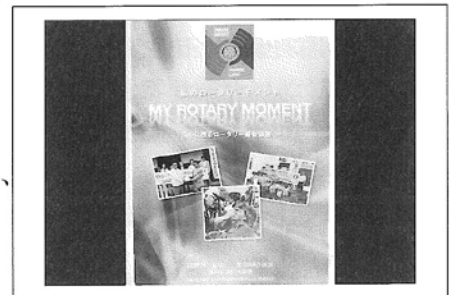
今年5月に開催された「ロータリー世界平和フ

ォーラム広島」でいただいた RI のシニアリーダーの文集“My Rotary Moment”には、素晴らしい感動体験が満載されていました。私は、この2840地区版を作り、地区内ロータリアン全員で「ロータリーモメント」を共有しようと考えました。

地区役員全員と地区内全クラブから「私のロータリーモメント」の寄稿を募り、文集にまとめました(全部で133人に寄稿していただきました)。

10月27日に開催された地区大会で、この文集の発行を記念事業のひとつとし、地区内会員全員に配布しました。また本会議の中で、分区・グループの代表者(8名)による「ロータリーモメント」の発表の時間を作りました。この文集の発刊と「ロータリーモメント」の発表が、今回の地区大会の最高の感動の時間となりました。

3月のPETS、5月の地区協議会に始まり、ガバナー月信、そして12月まで続くクラブ公式訪問でも、RI テーマと地区スローガンの趣旨、そして「ロータリーモメント」を語ることの意義について一貫して協調していますが、各クラブでも、元気なクラブづくり、会員増強、新しい奉仕プロジェクトの開発等、意識と意欲の高まりを感じています。



(中略)

本会議 第1日目 第1セッション

(会場から)

RI 会長賞の推進

第2700地区 ガバナー 穴井 元昭 (博多)



ガバナーエレクトに就任し、ガバナーエレクト研修セミナーなどを経験して、2013-2014年度の地区の活動方針をどうするかをいろいろ考えていたが、なかなか考えが纏まらないままで、サンディエゴの国際協議会に出席することになった。

ところが、国際協議会の登録の際にもらった書類の中の2種類のリーフレットを見た瞬間に活動方針問題が一挙に解決した。すなわち、活動の主題は5大奉仕を実践にすること、そしてその具体的な活動の指針はRI会長賞の受賞を目指すことである。

活動の方針を決める場合に大切なことは、第1に目標に意義があり、しかも具体的であること、第2に目標が達成可能なものであること、第3に期限が設定されていることである。そして、RI会長賞にはこれらの条件がほぼ満たされていると考えた。それで、地区のスローガンは「ロータリーを实践しよう」とし、活動方針はRI会長賞の受賞一本にしようとした。

ガバナー補佐のご協力と、公式訪問の際の会長・幹事との懇談会においても、RI会長賞の受賞の可能性を主要な話題とした。その結果、現在の段階で次のような状況になっている。

第2700地区約3200名の会員から構成されている

61クラブのうち、現在、会長賞受賞可能あるいは可能性があると思われるクラブは33クラブ、全体の55%、可能性に向けて努力中のクラブは16クラブ、26%、不可能なクラブは12クラブ、20%である。

仮に、努力中の16クラブの半数のクラブが受賞可能になれば、会長賞を受賞できるクラブが41クラブとなり、全体の67%となる。これは、会員の純増が最低でも41人になる計算になり、第2700地区にとっては画期的なことである。

この数値は、RIの運動方針に批判的な空気が漂っているといわれている第2700地区にとって、予想以上の好成績であり、ガバナー補佐の説得のご努力と各クラブのご協力に心から感謝する次第である。

モデレータ 三木 明

穴井ガバナーありがとうございました。

会長賞は、その指針に従い、具体的な目標を立て、決められた期間内に活動の成果をあげたクラブが、受賞できるのです。

さて、いよいよ最後になりましたが、本田ガバナーは地区の戦略計画として「クラブを元気にしよう」という目標をたてられました。

いかにクラブを元気にするか、その熱き想いに耳を傾けたいと思います。

クラブを元気にしよう

第2840地区 ガバナー 本田 博己 (前橋)

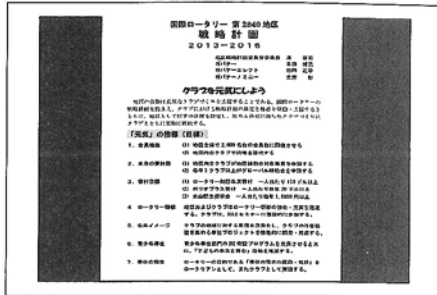
ガバナーとして最優先で取り組んでいること

1. 地区3か年戦略計画の策定

RIの戦略計画(2010-2013)の3つの優先項目の「1. クラブのサポートと強化」には「クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する」という1項があります。2840地区では、3年前から「地区戦略計画委員会」(当初は地区長期戦略委員会と称した)を立ち上げ、クラブにおける戦略計画の策定と推進を奨励してきましたが、肝心の地区の戦略計画がありませんでした。

本年度の地区戦略委員会には、清 章司パストガバナーを委員長、委員にガバナーである私と、

ガバナーエレクト、ガバナーノミニーにも加わっていただき、これから3か年（2013 - 2015）の地区の戦略計画を検討し、策定しました。



会員増強、未来の夢計画、寄付目標（財団・米山）、ロータリー研修、公共イメージ、青少年奉仕、奉仕の理念の7項目に目標（指標）を設定しました。先般の地区大会で提案し、活力と活気に満ちた元気なクラブづくりにクラブと共に果敢に挑戦することを決議しました。

また、本年度は、数値目標の他に定性的な地区目標を9項目掲げています。

この9項目は、すべてRIの戦略計画と呼応・リンクしており、そのことをクラブ指導者に意識して取り組むようお願いしています。

2. 会員増強について

2840地区全体では、13年前に2560地区（新潟）と地区分割した時に2540人を数えた会員数が、現在は1922人（2013年10月末現在）に落ち込んでいます。（13年で25%減少したことになります）

10年前のRI資料に、私が勝手に「会員数増大の公式」と呼んでいる図があります。「会員数の増大=E+3R」すなわち、“Extend”「拡大」、 “Recruit”「新会員の勧誘」、 “Retain”「会員維持」と “Revitalize” 「再活性化」である、というのです。私たち2840地区では、この最後の“Revitalize”に着目しました。

「会員増強」 “Membership Development” は、単に会員数を増やすことだけではなく、クラブの組織としての成長・強化を伴うべきものです。会員数の増大は、クラブ組織が強化・充実した結果なのです。

“Membership Development” は会員組織を強



化することであり、クラブの活力を回復して魅力的なクラブを作れば会員は増える。2840地区では8年前の曾我隆一ガバナー年度から「会員増強」に関する委員会名を「会員組織強化委員会」と呼称を変え、委員に全グループのガバナー補佐を配置して各クラブへのきめ細かい対応ができるようにしています。

本年度は、会員数の維持、増加の成果を上げた年度のバスターガバナーに委員会の委員長、副委員長をお願いし、万全を期しています。3か年戦略計画でも早期の会員数2,000名台回復を謳っています。

会員増強とは、一言でいえば「ロータリーの仲間を増やすこと」です。共に「奉仕の理念」のもとに、ロータリーの活動に積極的に参加する仲間を増やすことです。年度後半はこの会員増強に注力したいと考えています。

3. 未来の夢計画について

未来の夢計画の地区補助金について、昨年の計画年度に地区内46クラブのうち34クラブ（74%）が申請しました。これまで、地区補助金の申請が年に多くても7～8クラブであったこと、2840地区がノン・パイロット地区であったことを考えれば、初年度として大きな成果を上げたといえます。

ロータリー財団委員長の牛久保哲男バスターガバナーの強力なリーダーシップのもと、ロータリー財団委員会を組織的に強化し、各クラブに対する情報提供、理解浸透に努めた結果です。本年度は、地区内全クラブからの地区補助金申請を目指しています。

グローバル補助金は、これまで2クラブから申請がありました。モンゴルとバングラディシュにおけるどちらも医療分野の支援プロジェクトです。面白いのは、両者とも、かつて世話クラブとして世話した米山記念奨学生の学友の縁がきっかけとなっていることです。来年は、VTTにも挑戦する予定です。

また、ポリオ撲滅の最終段階であることを訴え、ポリオ・プラスへの積極的支援も全クラブにお願いしています。

4. ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) セミナーの実施

2840地区は5年前から導入の検討を始め、3年前よりRLIセミナーを実施しています。参加型



本会議 第1日目 第1セッション

・双方向型の討議による RLI セミナーの手法は、クラブのロータリー研修、新会員研修やクラブ戦略計画の立案時に活用すれば、きわめて有効であると考えています。クラブ内に RLI の手法を身に付けた人材を増やしてゆくため、今後も毎年継続して実施する計画です。

2840地区では、毎年9月から12月にかけて、パート1からパート3までのコースを実施しています。参加対象者は、各クラブとも会長エレクトと次年度幹事予定者の2名。ロータリーの様々なテーマに対する理解を深めることで、PETSや地区協議会、そして会長年度の準備と意欲の喚起に役立っています。

2840地区は、地区番号順に並べると、日本34地区の最後に並びます。つまり、日本で一番新しく若い地区であり、前例主義にとらわれない自由で何事にも果敢に挑戦する気風があります。歴代ガバナー年度の DLP と CLP の推進、戦略計画や未来の夢計画の推進の成果を踏まえて、これからも前進し続けたいと思います。希望と意欲にあふれる2840地区（群馬）にご注目ください！

最後に二つのことを申し上げます。

田中作次直前会長とロン・バートン会長のお二人のリーダーシップに心より敬意と感謝を申し上げます。1月に開催されたサンディエゴの国際協議会でお二人のメッセージを拝聴しながら、私たちは何と素晴らしい機会を得たことか、何と素晴らしい年度にガバナーを務めることになるのか、そのことの幸運を強く感じました。お二人のスピーチは、私たちの心を奮い立たせ、勇気づけるものでした。本当にありがとうございます。

二つめは、“First Class”である同期のガバナーの皆様の Fellowship と Friendship に心より感謝申し上げます。地区大会が終わり、クラブへの公式訪問も残りわずかとなって、ようやく同期の皆様の地区のガバナー月信を拝読する時間がとれるようになりましたが、それぞれの地区の課題に、真剣に熱心に取り組んでおられる姿に私も励まされています。

地区が直面する課題に一番問題意識と情熱を持って取り組んでいるのは、現職のガバナーである同期の私たちであると、自信をもって言えます。各地区のバストガバナーの皆様、私たちの改革へ

の意欲を温かく見守っていただき、またご支援いただきますようお願い申し上げます。

“Best Class”のガバナーエレクト、“World Class”のガバナーノミニの皆様、私たちの年度の課題や問題意識はしっかりとバトンタッチいたしますので、私たちと共に、より良い地区、元気なクラブづくりに連帯してゆきましょう。

本日は、ガバナーの私たちに、このような発表の機会をいただきありがとうございました。

以上

モデレータ 三木 明

「ロン・バートン RI 会長のテーマをいかに受け止め、実践しているか」

地区のスローガンとして掲げられた「希望を語ろう」

「私のロータリーモーメント」

本田ガバナー ありがとうございます。

ロータリーに積極的に参加する中で、私たちの持つロータリーの理念を広めるには、それを理解し、素晴らしい世界を広めるために仲間が多く必要です。

本田ガバナー、大変有意義なお話をありがとうございました。

このセッションでは、多岐にわたる分野のお話がたくさん出ました。まだ話したい、もっと聞きたい、そんな気持ちではありますが、残念ながら時間でございますので、このあたりで終わらせて頂きます。

3人のパネリストの方々とフロアからご発言頂いた5人のガバナーに感謝の拍手を送りたいと思います。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(以上『第42回ロータリー研究会報告書』より抜粋)



2013 - 2014 年度 地区主要行事一覧表

(年度前・上期)

2014年5月25日現在

	開催日	項目	場所
2012年	10月26日(金) 27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーバル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	11月29日(木) 30日(金)	ガバナーエレクト & 次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日～19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎プリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)～26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金) 18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00 第2回ガバナー補佐会議 13:00 地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県庁 昭和庁舎
	6月23日～26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎プリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
	8月8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月15日(日)	青少年交換委員会(受け入れ学生第1回オリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパートI	前橋問屋センター会館
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋商工会議所
	9月29日(日)	青少年交換学生 秋の旅	長野県
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月5日(土)	青少年交換委員会	前橋問屋センター会館
	10月19日(土)	青少年交換委員会	前橋問屋センター会館
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ペイシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパートII	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	前橋商工会議所
	12月1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火) 4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月7日(土)	米山記念奨学生選考会 面接官オリエンテーション	前橋商工会議所
	12月7日(土)	米山学友会クリスマス会	前橋商工会議所
	12月7日(土)	青少年交換委員会	前橋問屋センター会館
	12月8日(日)	RLIパートIII	前橋問屋センター会館
	11月30日(土)	第26回茶の湯研修会	にしお
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所



2013-2014年度 地区主要行事一覧表

(下期)

	開催日	項目	場所
2014年	1月6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月2日(日)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	3月29日(土)	10:30 第2回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月13日(日)	ローターアクト 第14回地区年次大会	太田ナウリゾートホテル
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月26日(土)	10:30 地区補助金最終審査会	前橋問屋センター会館
	4月26日(土)	青少年交換学生 災害ボランティア活動	宮城県南三陸町
	4月27日(日)	継続米山記念奨学生 資格面接	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生がけ・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月11日(日)	第27回茶の湯研修会	前橋 元気21
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 現新地区役員合同連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	6月22日(日)	ローターアクト 第14回地区指導者研修会	伊勢崎プリオパレス
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事クラブ一覧

クラブ名	周年	予定日	開催場所
前橋中央	20	2014年3月1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月5日(土)	伊勢崎プリオパレス
高崎セントラル	15	2014年4月4日(金)	高崎ビューホテル
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央バウンティ広場(式典)・前橋リサ(記念事業)
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館
伊勢崎東	20	2014年6月21日(土)	伊勢崎プリオパレス

2013-2014年度 IM開催一覧

分 区	開催日	開催場所
第1分区	2014年5月18日(日)	前橋商工会議所
第2分区-A	2014年3月22日(土)	桐生プリオパレス
第2分区-B	2014年3月23日(日)	ニューいづみ
第3分区	2014年5月11日(日)	高崎ビューホテル
第4分区-A	2014年3月9日(日)	太田グリーンパレス
第4分区-B		
第5分区	2014年2月9日(日)	アネーリ渋川
第6分区	2014年2月22日(土)	ホテルアミューズ富岡

編集後記

2013-14 年度の「ガバナー月信」は、2013 年 6 月の創刊ゼロ号を皮切りに 14 号目の本終刊号をもちまして最後となります。1 年間ご愛読いただき誠にありがとうございました。この編集後記を書きながら正直ホッとしています。

皆様もご存じのとおり本田ガバナーは熱い気持ちと聡明な頭脳を有し、決して妥協しない強さがあります。「ガバナー月信」は各クラブの会長、幹事はもちろんのことすべての会員への重要な情報伝達手段であると大変重視されていました。私もガバナーの熱い思いを何とかメンバーに伝えたいという一心で 1 年間取り組んできました。

毎月連載させていただいた本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」ではロータリーの本質を見事なまでにやさしく、楽しく解説いただきました。

また、パストガバナーの方々からは味わい深いエッセイを多数お寄せいただきました。そして、地区行事報告では皆様のご協力によりタイムリーかつ臨場感のある情報発信ができたと思います。

本田ガバナーには文章の書き方からロータリーの本質まで懇切丁寧にご指導いただき感謝いたします。また、事務局の入山さんには夜遅くまで校正作業をしていただきありがとうございました。皆さん、1 年間本当にお世話になりました。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井 尚久（前橋RC）

